

第5次レッドデータブック：
絶滅のおそれのある日本の野生生物
The 5th Red Databook, Threatened wildlife of Japan

ダイトウカイツブリ

Tachybaptus ruficollis kunikyonis (Kuroda, 1927)

高木昌興（北海道大学）

絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会 鳥類分科会



令和8（2026）年3月



特に文献内で別途指定がない限り、この文献はクリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際ライセンスの下に提供されています。

<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

種毎の解説を引用する場合には以下のように記述してください。

引用表示：高木昌興，2026．ダイトウカイツブリ．環境省（編）第5次レッドデータブック：絶滅のおそれのある日本の野生生物，pp. 815-818．

Citation: Takagi, M., 2026. *Tachybaptus ruficollis kunikyonis* (Kuroda, 1927). In: Ministry of the Environment, Japan (ed.), *The 5th Red Databook, Threatened wildlife of Japan*, pp. 815-818.

ダイトウカイツブリ

Tachybaptus ruficollis kunikyonis (Kuroda, 1927)

カテゴリー判定結果		情報不足 (DD)			②③
基準 A: データ不足	基準 B: —	基準 C: —	基準 D: —	基準 E: —	
環境条件の変化によって、容易に絶滅危惧カテゴリーに移行し得る属性（具体的には次の要素）を有しているが、生息状況をはじめとしてカテゴリーを判定するに足る情報が得られていない種。 ②生息地が局限されている。 ③生物地理上、孤立した分布特性を有する（分布域がごく限られた固有種等）。 【判断理由】 北大東島と南大東島の池沼だけに生息する。					
評価分科会： 鳥類分科会					

概要

北大東島と南大東島の固有亜種である。両島の大小様々な池沼で、複数の成鳥個体、複数の小さなヒナ、大きく育ったヒナをごく普通に観察することができる。定量的な個体数変動に関する記録は今のところないが、1970年代から確認されていた全身が白い個体が2022年には確認されなくなった。偶発的な白色個体の個体群における定着であったが、白色個体が生息しなくなった要因について検討することは、北大東島と南大東島に隔離分布する固有亜種の個体群動態を追跡する上で重要である。

協力者： 澤田明（早稲田大学人間科学学術院）・金杉尚紀（北海道大学大学院理学院）

基礎情報

【形態】

全長 26 cm、亜種カイツブリと羽色に明確な違いは認められない。本亜種は亜種カイツブリよりも嘴がやや長い傾向があると考えられている。南大東島では、全身が白い個体が複数、1970 年代から現在に至るまで観察され続けていた。経年的に白色個体が維持され続けた。目の色や嘴、脚の色は通常色のカイツブリと同様であるため、白化（アルビノ）ではない。山階鳥類研究所に白色個体の剥製が収蔵されている。

【生活史】

オスとメスの両方が巣作りからヒナの給餌までを行う。巣は浮葉植物の上や抽水植物が繁茂する中に、植物を集めて作られる浮き巣である。本亜種に関する卵や雛、抱卵期間、育雛期間の情報は無い。冬季に孵化からの期間が短い小型のヒナと十分に成長したヒナが同時に観察されることがある。このことから秋から冬季にも繁殖する個体がいると推察される。

【生息環境】

湿地および池沼に生息する。

生息環境区分：	【陸域_平地部】湿地・湿原，ため池・池沼
---------	----------------------

国土地域区分：	(4) 河川・湿地地域，(7) 島嶼地域
---------	----------------------

【分布域】

北大東島・南大東島に分布する。

現在の生息状況

【分布域の現況】

分布域に大きな変化はない。

【生息地の現況】

池沼域には人為的に移入されたティラピア類が多く、繁殖しているため稚魚も非常に多い。そのため採餌環境は良好と推察される。大東諸島には雛の捕食者となりうるハシブトガラスが生息せず、同様に雛を捕食することがあるオオクチバスも池沼地域に生息していない。そのため繁殖成功を妨げる要因は少ないと思われる。一方で南大東島では、要注意外来生物である水草のホテイアオイ、オオサンショウモを始め、スイレン、ハス、エンサイ、パラグラス、シュロガヤツリが繁茂している区域がある。北大東島ではボタンウキクサ、ホテイアオイ、ヨウサイの繁茂が確認されている。開放水域が著しく減少する可能性もあり、外来水生植物の監視が重要である。また土砂の流入が確認された池沼もある。

【個体数の現況】

定量データがない。しかし南大東島には、少なくとも 1970 年代から全身が白い個体が複数観察されてきた。単なる白化ではなく、目の色や嘴、脚の色は通常色のカイツブリと同様である。この白いカイツブリは少なくとも 2022 年から確認されていない。

存続を脅かす要因

生息場所となる池沼の面積が大きく減じられる現状にはない。特に本亜種が多く生息する大池や月見池など広い開放水面を持つ池の環境には大きな変化は認められない。しかし個体数に関する正確な情報はないことが問題である。島嶼域で亜種に分化したことを考えると、池沼面積は限られており環境収容力は小さく、個体数が増加することはないと思われる。今後は個体数の把握に努める必要がある。

要因の区分：	(過去)	水質汚濁，農薬汚染/化学物質汚染，近交弱勢
	(現在)	近交弱勢

特記事項

特になし

旧レッドリストカテゴリーと掲載名

第4次 2020:	—	—	—
第4次 2019:	—	—	—
第4次 2018:	—	—	—
第4次 2017:	—	—	—
第4次 2015:	—	—	—
第4次:	—	—	—
第3次:	—	—	—
第2次:	—	—	—
第1次:	—	—	—

都道府県レッドリスト・レッドデータブック掲載状況（令和6年度末時点）

【沖縄県】準絶滅危惧(NT)

保護に係る法令指定状況（令和7年度末時点）

鳥獣保護管理法

参考文献

- 姉崎悟・髙原健二・松井晋・高木昌興, 2003. 大東諸島産鳥類目録. 沖縄県立博物館紀要, 29: 25-54.
- Llimona, F., J. del Hoyo, D. A. Christie, F. Jutglar, E. F. J. Garcia and G. M. Kirwan, 2020. Little Grebe (*Tachybaptus ruficollis*), version 1. 0. <https://doi.org/10.2173/bow.litgre1.01>. Birds of the World (J. del Hoyo, A. Elliott, J. Sargatal, D. A. Christie, and E. de Juana, Editors). Cornell Lab of Ornithology, Ithaca, NY, USA.
- 沖縄野鳥研究会編, 1993. 改訂沖縄県の野鳥. 沖縄出版, 浦添.
- 沖縄野鳥研究会編, 2002. 沖縄の野鳥. 新報出版, 那覇.
- 株式会社プレック研究所, 2013. 平成 24 年度国指定大東諸島鳥獣保護区における保全事業検討調査業務報告書. 株式会社プレック研究所, 東京.
- 株式会社プレック研究所, 2014. 平成 24 年度(繰越)国指定大東諸島鳥獣保護区における保全事業検討調査業務報告書. 株式会社プレック研究所, 東京.
- 山階鳥類研究所・我孫子市鳥の博物館, カイツブリ. 山階鳥類研究所標本データベース, <https://decochan.net/index.php?mp=2&o=ssp&id=61443>

アセスメントサマリー (Assessment summary)

Tachybaptus ruficollis kunikyoni has been assessed for threatened wildlife of Japan Red List 5th edition. *Tachybaptus ruficollis kunikyoni* is listed as DD under criteria ②③.

The species that possesses attributes which could easily shift it into the threatened categories due to changes in environmental conditions (specifically, the following criteria), yet lacks sufficient data, including habitat status, to determine its category.

②Habitats are highly limited.

③Distribution is biogeographically isolated (e.g., endemic species confined to a narrow range).

Habitat types:	【Terrestrial/Freshwater area_Plain】 Wetland, Reservoir/Pond
Threat types:	Inbreeding depression
Law designation status for conservation	Wildlife Protection, Control, and Hunting Management Act.

執筆者: 高木昌興 (北海道大学)

Author: Masaoki Takagi

公表年月: 2026 年 3 月